

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6 年 3 月 18 日

事業所名もりもりの森(児童発達支援事業所)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		職員が全体を見渡せるように努めている。	
	②	職員の配置数は適切である	6			今後も配置は適切な人数で行っていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		過ごしやすく、活動がしやすいように環境設定を行っている。	視覚表示等用いて、更にわかりやすい部屋作りを作り上げていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日の掃除を丁寧に行い、過ごしやすい空間作りを徹底している。	心地よく過ごせるようにしている。ワンフロアでの活動の為、静と動の活動に合わせて環境設定を組んでいきたい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		会議等で実施しおこなっている。	もっと改善案を具体化して取り組んでいく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		保護者の要望になるべく応えられるように努力している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	毎年取り組んでいる。	会社のホームページで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	現在準備段階です。	これから行うようすすめている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			会議は行っているが全体での勉強会は少ないので実施できるようにしていきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		保護者と面談を行い、課題を確認しながら作成している	作成した個別支援計画に沿って療育をおこなっていけるように会議で共有している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		ソフトウェアHUGのアセスメントシートを使用している	アセスメントツールでの情報を職員間で共有している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		保護者との面談でニーズを共有し、個別支援計画を作成している。	なるべく分かりやすく具体的に支援内容を明記するように心がけている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		会議にて月ごとの目標を決めて支援している。	月ごとの振り返りにもっと力を入れて翌月に生かせるようにしていきたい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		みんなでアイデアを出し合っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		デイリープログラムを前月に立案している。	今後も課外活動や季節を感じるプログラム等楽しめる活動を立案していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		個別支援計画の目標達成に近づけるように個別活動も丁寧に行っている。	今後も個別での対応を丁寧に行い、子どもの伸ばせる場所を支援していきたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		午前と午後で必ず振り返りを行っている。	常勤以外の職員にも周知できるように口頭やノートを活用して今後も共通理解を深めていきたい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎日話し合いを行い、振り返りの時間を設けている。	職員が全員揃うことが難しいので、書面に残し、共有できるようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日記録を取り、職員間で共有している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		会議にて話し合いを行っている。	今後も保護者との面談を行い、支援方針を確認し合っていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		小さなことでも報告を行い、連携を心掛けている。	関係機関との連携を今後も積極的に行っていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		現状は非該当。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1		現状は非該当。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		スムーズに移行できるように情報共有を実地している。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		スムーズに移行できるように情報共有を実地している。	就学に向けて他機関と情報共有を行い、連携が出来るようにしている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		研修に参加し、意見交換を行っている。	研修での学びを他職員にも卸して共通理解が行えるように取り組んでいく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6			コロナもあり躊躇していたが、今後考えていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		参加し、意見交換を行っている。	今後も積極的に参加をしていく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		電話や送迎時に伝え合っている。	必要性のある際は随時面談を実施している。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		今後考えていきたい。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の時に重要事項説明書を使用しながら伝えて	分かりやすく端的に伝える事を心掛けていく。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		保護者との面談を重ね、個々に合った個別支援計画を作成している。	五領域に基づいた個別支援計画が作成できるよう努めている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		すぐに対応するようにしている。	今後も面接や見学、ソフトウェアHUGを通して悩みなど気軽に相談していただけるようアナウンスしていく。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	感染症も流行り、躊躇している。	感染症も流行り、躊躇していた為今後は開催できるようにしていく。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		毎日ソフトウェアHUGでの保護者からのコメントを目を通してしている。	相談にのり、アドバイスをするように心がけている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	4	ソフトウェアHUGでその日の様子を文と写真で伝えて	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	6		鍵のかかった書庫へ毎日保管している。	今後も十分留意していく。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		一人一人に合った方法で対応を心掛け	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		今年は夏祭りをおこなったが一般参加のはなかったため、今後交流できるような行事を取り組んでいきたい。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアル作成し、保護者にも契約時に伝えている。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		三施設での合同避難訓練を実施している。元消防士にも協力をいただいている。	災害を想定して、訓練時に緊迫感を持ちながら取り組んでいく。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時に必ず確認している。	職員全員が周知できるように今後も表を作成していく。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に必ず確認している。	職員全員が周知できるように今後も表を作成していく。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		書面に残して必ず共有している。	今後も事例検討等取り組んでいく。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		職員全員で研修を行っている。	会議でも虐待について意識できるように議題に入れていきたい。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		何かあればその都度保護者に連絡、相談し対応方法を一緒に考えている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。